

CSR監査

内部監査

日本曹達の各事業場で行っているQMS、EMS、OSHMS等の内部監査をCSR監査と位置付け、確実な監査が行われているか、監査レベルは妥当か等を全社横断的に検証・検討するため、各事業場の代表者と本社関係者が年1回CSR監査検証・検討会を開催しています。日本曹達の事業場(工場・研究所)独自の内部監査をCSR監査と位置付けて実施し、事業場のCSR推進委員会でその結果を審議しています。

定期CSR監査

日本曹達の監査チームがグループ会社の取り組み状況を定期的(隔年)に監査しています。

外部監査

ISO14001、ISO9001、OHSAS18001に基づく外部監査の他、防災専門機関による防災と労働安全を重視した防災診断を各事業場(工場・研究所)および製造系グループ会社が受診し、その診断結果に基づいて継続的に改善を行います。

ステークホルダーであるお客様からの監査も積極的に受け入れ、指摘事項に対して改善を行います。その他、必要に応じて外部監査を実施します。

特別監査

重大な不適合が発生したときなど、監査を行う必要が生じた場合に、その内容に適した監査体制で特別監査を実施しています。

監査/審査実施状況

2017年度 日本曹達グループ・監査/審査状況(件数)

事業場	内部	外部	
		受審	実施
本社	4	1	60
二本木工場	8	34	9
高岡工場	38	9	4
水島工場	2	3	2
千葉工場	10	27	17
小田原研究所	2	4	1
千葉研究所	14	3	0
国内製造系グループ3社	25	69	1
合計	103	150	94